

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2017-530906

(P2017-530906A)

(43) 公表日 平成29年10月19日 (2017. 10. 19)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 81/34 (2006.01)	B 6 5 D 81/34 S	3 E 0 1 3
A 4 7 J 33/00 (2006.01)	A 4 7 J 33/00	4 B 0 5 5
A 4 7 J 27/04 (2006.01)	A 4 7 J 27/04 Z	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 16 頁)

(21) 出願番号	特願2017-503157 (P2017-503157)	(71) 出願人	517015270 ズクソク サルバブ カンパニー, リミテッド 大韓民国 456-812 ギョンギード, アンソンーシ, ウォンゴクーミョン, ジサンーギル, 52
(86) (22) 出願日	平成27年3月13日 (2015. 3. 13)	(74) 代理人	100091683 弁理士 ▲吉▼川 俊雄
(85) 翻訳文提出日	平成29年1月19日 (2017. 1. 19)	(74) 代理人	100179316 弁理士 市川 寛奈
(86) 国際出願番号	PCT/KR2015/002482	(72) 発明者	ゴン, ソクテー 大韓民国 456-812 ギョンギード, アンソンーシ, ウォンゴクーミョン, ジサンーギル, 52
(87) 国際公開番号	W02016/013745		
(87) 国際公開日	平成28年1月28日 (2016. 1. 28)		
(31) 優先権主張番号	10-2014-0092379		
(32) 優先日	平成26年7月22日 (2014. 7. 22)		
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		
(31) 優先権主張番号	10-2014-0094439		
(32) 優先日	平成26年7月25日 (2014. 7. 25)		
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		
(31) 優先権主張番号	10-2014-0096843		
(32) 優先日	平成26年7月29日 (2014. 7. 29)		
(33) 優先権主張国	韓国 (KR)		

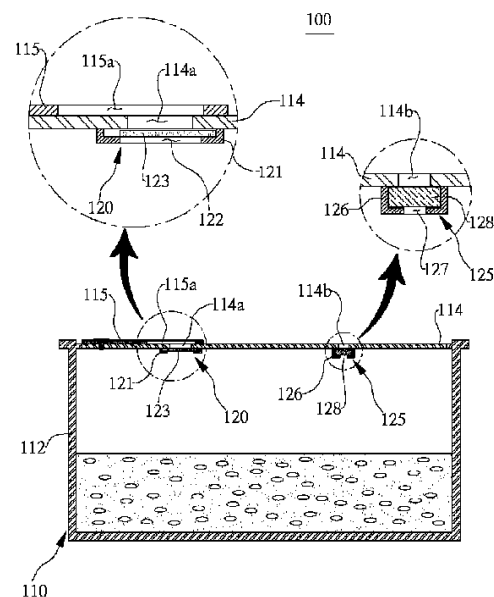
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 食物調理容器

(57) 【要約】

本発明は、簡単に食物を調理できるようにする食物調理容器に関するもので、電子レンジまたは別のお湯を用意していない状態で、簡単に調理が可能なので、キャンプなどのアウトドアでご飯を容易に調理できるようになる効果があり、また、本発明は、容器本体の内部に米が収容された状態で販売されるので、付加価値税の免税の優遇を受けることができ、製品の価格を下げるができるようになる効果がある。

【選択図】 図 4



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

内部に米が収容されるように空間が形成され、上部が開放されるケースと、前記ケースの開放された上部を開閉させるカバーとを備え、前記カバーの一侧に第 1 挿通孔が形成され、前記カバーの他側に第 2 挿通孔が形成された容器本体と、
前記第 1 挿通孔を開閉させるように、前記カバーの内側に位置される弾性材質の遮断ラバーと、前記カバーの内側に結合された状態で前記遮断ラバーを支持する第 1 支持部とを備える第 1 遮断部と、および、
前記第 2 挿通孔を覆うように、前記カバーの内側に密着され、スチームが通過されるナノ繊維で形成されたスチームフィルターを備える第 2 遮断部とを含むことを特徴とする食物調理容器。

10

【請求項 2】

内部に米が収容されるように空間が形成され、上部が開放されたケースと、前記ケースの開放された上部を開閉させるカバーとを備え、前記カバーに挿通孔が形成された容器本体と、および、
前記挿通孔を開閉させるように、前記カバーの内側に位置される遮断フィルターと、前記カバーの内側に結合された状態で前記遮断フィルターを支持する支持部とを備える遮断部とを含み、
前記遮断フィルターが、スチームが通過するナノ繊維で形成されたことを特徴とする食物調理容器。

20

【請求項 3】

前記第 1 支持部の枠は、前記遮断ラバーの一侧を覆うように形成され、前記第 1 支持部の前記遮断ラバーの他側と対向する位置には、前記遮断ラバーが前記第 1 支持部を貫通して、前記第 1 挿通孔から離れる方向に曲がることのできるように、貫通孔が形成されることを特徴とする請求項 1 に記載の食物調理容器。

【請求項 4】

前記第 2 遮断部は、前記スチームフィルターを支持するように、前記カバーの内側に付着される第 2 支持部をさらに含み、前記第 2 支持部の前記第 2 挿通孔と対向する位置には、貫通孔が形成されたことを特徴とする請求項 1 に記載の食物調理容器。

【請求項 5】

前記貫通孔は、複数で構成されていることを特徴とする請求項 4 に記載の食物調理容器。

30

【請求項 6】

前記容器本体を加熱させるように、固体燃料をさらに備えることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の食物調理容器。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、食物調理容器に関するもので、より詳細には、電子レンジまたは別途のお湯を用意していない状態で、簡単に食物を調理できるようにする食物調理容器に関するものである。

40

【背景技術】**【0002】**

現代社会は、高度の経済成長と生活レベルの急激な変化に加え、我々の社会環境や生活様式、特に、食生活様式を大きく変貌させている。現代人は、複雑な生活の中で簡便性を追求することになり、経済成長に伴う生活水準の向上につき、徐々に外食が日常化しつつあり、それに応じて外食産業の繁栄とインスタント食品の利用が急増している。また、週 5 日制勤務の拡大によるキャンプなどのレジャー生活の増加に応じて、インスタント食品の市場は、毎年成長を記録している。

【0003】

これらのインスタント加工食品中のインスタントご飯は、電子レンジなどの器具を使用し

50

て、暖めて食べることができるもので、代表的なものとして、シージェイ株式会社の「ヘッパン」を挙げることができる。インスタントご飯は、3分前後の簡単な調理だけで、温かいご飯をその場で食べることができるという長所がある。

【0004】

図1は、インスタントご飯が包装されている従来のインスタント容器を説明するために示す図である。図1を参照すると、従来インスタント容器10は、内部に空間が形成され、上部が開放されている本体12と、本体12の開放された上部を覆うリードフィルム14を含む。そして、米を加工してインスタントご飯（図示せず）に調理した後、このように調理されたインスタントご飯が、本体12の内部に入れられて、続いてリードフィルム14が本体12をシーリングする。

10

【0005】

このような従来のインスタント容器は電子レンジのような別途の電子製品を使用しなければならない、または、別途のお湯を備える必要があるため、調理の制約が厳しい問題点がある。

【0006】

一方、インスタントご飯は米を加工して調理されたものなので、工業製品として分類されて、付加価値税が課税される。ところが、米自体は農産物として、付加価値税が免除されるため、一定量の米を包装した後、これを利用してご飯を直接調理する製品が発売される場合、付加価値税の免税の優遇を受けることができ、製品の価格を下げることができるだろう。

20

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

上記のような従来技術の問題点を解決するための本発明の目的は、電子レンジや別途のお湯を用意していない状態で、簡単に食物を調理できるようにする食物調理容器を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0008】

前記の目的を達成するために、本発明は、内部に米が収容されるように空間が形成され、上部が開放されるケースと、前記ケースの開放された上部を開閉させるカバーを備え、前記カバーの一側に第1挿通孔が形成され、前記カバーの他側に第2挿通孔が形成される容器本体と、前記第1挿通孔を開閉させるように前記カバーの内側に位置される弾性材料の遮断ラバーと、前記カバーの内側に結合された状態で、前記遮断ラバーを支持する第1支持部を備える第1遮断部と、および前記第2挿通孔を覆うように前記カバーの内側に密着され、スチームが通過されるナノ繊維で形成されるスチームフィルターを備える第2遮断部とを含むことを特徴とする食物調理容器を提供する。

30

【0009】

また、内部に米が収容されるように空間が形成され、上部が開放されるケースと、前記ケースの開放された上部を開閉させるカバーを備えるが、前記カバーに挿通孔が形成される容器本体と、および前記挿通孔を開閉させるように前記カバーの内側に位置される遮断フィルターと、前記カバーの内側に結合された状態で、前記遮断フィルターを支持する支持部を備える遮断部とを含み、前記遮断フィルターは、スチームが通過するナノ繊維で形成されることを特徴とする食物調理容器を提供する。

40

【0010】

また、前記第1支持部の枠は、前記遮断ラバーの一側を覆うように形成され、前記第1支持部の前記遮断ラバーの他側と対向する位置には、前記遮断ラバーが前記第1支持部を貫通して、前記第1挿通孔から離れる方向に曲がるように、貫通孔が形成されることを特徴とする食物調理容器を提供する。

【0011】

また、前記第2遮断部は、前記スチームフィルターを支持するように、前記カバーの内側

50

に付着される第 2 支持部をさらに含み、前記第 2 支持部の前記第 2 挿通孔と対向する位置には、貫通孔が形成されることを特徴とする食物調理容器を提供する。

【0012】

また、前記貫通孔は、複数で構成されていることを特徴とする食物調理容器を提供する。

【0013】

また、前記容器本体を加熱させるように、固体燃料がさらに備えることを特徴とする食物調理容器を提供する。

【発明の効果】

【0014】

本発明は、電子レンジ、または別途のお湯を用意していない状態で、簡単に調理が可能なので、キャンプなどのアウトドアでご飯を容易に調理することができるようになる効果がある。

【0015】

また、本発明は、容器本体の内部に米が収容された状態で販売されるので、付加価値税の免税の優遇を受けることができ、製品の価格を下げるができるようになる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【0016】

【図 1】 インスタントご飯が包装されている従来のインスタント容器を説明するために示す図である。

【図 2】 本発明の好ましい第 1 実施例に係る食物調理容器のケースを概略的に示す図である。

【図 3】 本発明の好ましい第 1 実施例に係る食物調理容器の容器本体を概略的に示す図である。

【図 4】 本発明の好ましい第 1 実施例に係る食物調理容器の第 1 遮断部と第 2 遮断部を説明するための断面図である。

【図 5】 本発明の好ましい第 1 実施例に係る食物調理容器の第 1 遮断部に水が供給される状態を説明するために示す図である。

【図 6】 本発明の好ましい第 1 実施例に係る食物調理容器が加熱されている状態を説明するために示す図である。

【図 7】 本発明の好ましい第 1 実施例に係る食物調理容器が加熱されている状態の他の例を説明するために示す図である。

【図 8】 本発明の好ましい第 2 実施例に係る食物調理容器を説明するための断面図である。

【図 9】 本発明の好ましい第 2 実施形態に係る食品調理容器の第 1 遮断部に水が供給される状態を説明するために示す図である。

【図 10】 本発明の好ましい第 2 実施例に係る食物調理容器が加熱されている状態を説明するために示す図である。

【発明を実施するための形態】

【0017】

以下、添付された図面を参照して、本発明の好ましい実施例に係る食物調理容器をさらに詳細に説明する。

【0018】

図 2 は、本発明の好ましい第 1 実施例に係る食物調理容器のケースを概略的に示す図であり、図 3 は、本発明の好ましい第 1 実施例に係る食物調理容器の容器本体を概略的に示す図である。

【0019】

図 2 および図 3 を参照すると、本発明の好ましい第 1 実施例による食物調理容器 100 は、米を包装するように構成され、使用者が即座で水を入れて加熱してご飯を調理できるようにするためであり、容器本体 110 と、第 1 遮断部 120（図 4 に図示）と、および第

10

20

30

40

50

2 遮断部 1 2 5 (図 4 に図示) とを含む。

【0020】

容器本体 1 1 0 は、米などが入れられるもので、堅固で熱伝達が容易な金属材料等で形成することができる。これらの容器本体 1 1 0 は、内部に米などが収容されるように空間が形成され、上部が開放されるケース 1 1 2 と、ケース 1 1 2 の開放された上部を開閉させるカバー 1 1 4 とを含む。そして、カバー 1 1 4 の一側には、第 1 挿通孔 1 1 4 a が形成されて、カバー 1 1 4 の他側には、第 2 挿通孔 1 1 4 b が形成される。そして、カバー 1 1 4 は、ケース 1 1 2 を開放させることができるように構成され、例えば、カバー 1 1 4 の外側にリング 1 1 5 が備えられ、カバー 1 1 4 の外周縁に沿って切断線が形成されるイー

10

【0021】

第 1 遮断部 1 2 0 と第 2 遮断部 1 2 5 は、下記の図面を参照して説明することにする。

【0022】

図 4 は、本発明の好ましい第 1 実施例による食物調理容器の第 1 遮断部と第 2 遮断部を説明するための断面図である。

【0023】

図 4 を参照すると、第 1 遮断部 1 2 0 は、カバー 1 1 4 の第 1 挿通孔 1 1 4 a を開閉させるもので、第 1 挿通孔 1 1 4 a を覆うようにカバー 1 1 4 の内側に位置される弾性材質の遮断ラバー 1 2 3 と、遮断ラバー 1 2 3 を支持するようにカバー 1 1 4 の内側に結合されている第 1 支持部 1 2 1 とを有するように構成される。第 1 支持部 1 2 1 は、カバー 1 1 4 の内側に付着される固定テープなどで構成されるが、第 1 支持部 1 2 1 の枠一側は遮断ラバー 1 2 3 の一側を固定させるように、遮断ラバー 1 2 3 の一側を覆うように構成されて、第 1 支持部 1 2 1 の枠他側は遮断ラバー 1 2 3 の他側を覆わないように構成される。そして、第 1 支持部 1 2 1 の中央には、第 1 貫通孔 1 2 2 が形成され、第 1 支持部 1 2 1 によって固定されていない遮断ラバー 1 2 3 の他側は、第 1 貫通孔 1 2 2 を貫通して第 1 挿通孔 1 1 4 a から離れる方向に曲がったり、元の状態に復帰することができるように構成される。そして、後述する水供給部 2 0 0 (図 5 に図示) が遮断ラバー 1 2 3 を加圧すると、遮断ラバー 1 2 3 が曲がりながら第 1 挿通孔 1 1 4 a を開放させることになり、水供給部 2 0 0 を介して容易に容器本体 1 1 0 の内部に水を注入することができるようになる。これは図 5 を参照して説明することにする。

20

30

【0024】

第 2 遮断部 1 2 5 は、カバー 1 1 4 の第 2 挿通孔 1 1 4 b を開閉させるもので、第 2 挿通孔 1 1 4 b を覆うように、カバー 1 1 4 の内側に密着されるナノ繊維材質のスチームフィルター 1 2 8 と、スチームフィルター 1 2 8 を支持するようにカバー 1 1 4 の内側に結合される第 2 支持部 1 2 6 とを含む。スチームフィルター 1 2 8 は、水は外部に排出されず、水蒸気は通過されるようにすることで、一般的に透湿機能を備えるアウトドア用品に多く使用される公知された技術である。そして、容器本体 1 1 0 の下部には、固体燃料 1 3 0 (図 6 に図示) がさらに備えられるが、このような固体燃料 1 3 0 などを利用して、容器本体 1 1 0 を加熱させると、容器本体 1 1 0 の内部に水蒸気が発生され、前記水蒸気はスチームフィルター 1 2 8 を介して外部に排出される。このように、スチームフィルター 1 2 8 を利用して、第 2 挿通孔 1 1 4 b を開閉させることで、容器本体 1 1 0 のケース 1 1 2 を開放させていない状態で調理をしても、内部の圧力が一定程度以下に自動調節され、内部の空気膨張による容器 1 0 0 の本体の爆発の危険性がないため、安全な効果がある。また、容器本体 1 1 0 の外部の細菌や汚れなどがスチームフィルター 1 2 8 を通過しないため、容器本体 1 1 0 の内部が汚染されないようにする効果がある。第 2 支持部 1 2 6 は、スチームフィルター 1 2 8 がカバー 1 1 4 の内側にしっかり固定されるようにするためのもので、例えば、固定テープなどで構成することができる。そして、第 2 支持部 1 2

40

50

6の第2挿通孔114bと対向する位置には、第2貫通孔127が形成される。そして、容器本体110の内部の水蒸気は第2貫通孔127と、スチームフィルター128と、第2挿通孔114bとを介して外部に排出させることができるようになる。第2貫通孔127と第2挿通孔114bは、場合によっては、複数で構成されることもできる。このように第2貫通孔127と第2挿通孔114bが複数で構成されると、容器本体110の内部の水蒸気は、より迅速に外部に排出することができる。

【0025】

一方、必要に応じて第1挿通孔114aおよび第2挿通孔114bにラベル（図示せず）を付けると、第1挿通孔114aおよび第2挿通孔114bを介して外部の空気が容器本体110の内部に流入されないようになって、容器本体110の完全密閉が可能となる。

10

【0026】

以下、本発明の好ましい第1実施例に係る食物調理容器を利用して、食物を調理する過程について説明する。

【0027】

図5は、本発明の好ましい第1実施例に係る食物調理容器の第1遮断部に水が供給される状態を説明するために示す図である。

【0028】

図5を参照すると、容器本体110に米が収容されており、この状態で水供給部200を利用して、容器本体110に水を注入する。水供給部200は、注射器などで構成されるもので、水が収容されているシリンダー210と、シリンダー210に盛られた水を加圧できるように、シリンダー210の一侧に装着されるピストン220と、シリンダー210の水が外部に排出されるように、シリンダー210の他側に装着されるニードル230を含む。

20

【0029】

そして、ニードル230が、リングホール115aと第1挿通孔114aとに挿入された後、遮断ラバー123を加圧すると、遮断ラバー123が曲がりながら第1挿通孔114aが開放される。この時、ピストン220を加圧してシリンダー210の水が容器本体110の内部に注入されるようにする。この時、容器本体110に収容された米は、例えば、120gで構成されて、容器本体110の内部に注入される水は、例えば、150ccで構成することができる。

30

【0030】

そして、水の注入が終わったら、ニードル230を第1挿通孔114aから外部に脱去させ、この時、遮断ラバー123は、自体の弾性により元の位置に復帰されて、第1挿通孔114aを閉鎖することになる。

【0031】

図6は、本発明の好ましい第1実施例に係る食物調理容器が加熱されている状態を説明するために示す図である。

【0032】

図6を参照すると、容器本体110の下部に固体燃料130が備えられる。固体燃料130は、容器本体110を直接加熱することにより、容器本体110に注入された水が煮えるようにして、ご飯を調理するようにする。これらの固体燃料130は、例えば、サイズが大きい第1固体燃料（図示せず）と、第1固体燃料より小さいサイズの第2固体燃料（図示せず）とを備えており、第2固体燃料の上に第1固体燃料が配置され、第1固体燃料の上に容器本体110が配置される。そして第1固体燃料に火をつけると、第1固体燃料から燃焼が開始され、第1固体燃料の燃焼が完了すると、第2固体燃料が燃焼され始める。この時、第1固体燃料は、その大きさが大きいため、火力が強く、第2固体燃料は、その大きさが小さいため、火力が弱い。これにより、第1固体燃料の強い火力を利用して、容器本体110に注入された水を沸かし始めて、一定の時間が経過し、第2固体燃料が燃焼し始めると、第2固体燃料は火力が弱いので、自動的に蒸らす効果を備えるようになる。

40

50

【0033】

一方、固体燃料130によって容器本体110の内部の水が沸き始めると、容器本体110の内部には、水蒸気でいっぱいになり、この水蒸気は第2貫通孔127と、スチームフィルター128と、第2挿通孔114bとを順番に通過しながら容器本体110の外部に排出される。

【0034】

このように、本発明は、電子レンジや別途のお湯を用意していない状態で、簡単に調理が可能なので、キャンプなどのアウトドアでご飯を容易に調理することができるようになる効果がある。

【0035】

また、本発明は、容器本体110の内部に米が収容された状態で販売されるので、付加価値税の免税の優遇を受けることができ、製品の価格を下げることができるようになる効果がある。

【0036】

図7は、本発明の好ましい第1実施例に係る食物調理容器が加熱されている状態の他の例を説明するために示す図である。

【0037】

図7を参照すると、本発明は、図6の固体燃料130（図6に図示）の代わりに、バーナー140を使用することもできる。バーナー140は、キャンプなどで主に使用される一般的なもので、バーナー140に装着されたガスを利用して、容器本体110を加熱することができる。

【0038】

図8は、本発明の好ましい第2実施例に係る食物調理容器を説明するための断面図である。

【0039】

図8を参照すると、本発明の好ましい第2実施例に係る食物調理容器は、前記第1実施例で、第1遮断部120の遮断ラバー123が遮断フィルター129に変更され、第2遮断部125が除去されることを除いては、前記第1実施例と同じように構成されている。

【0040】

即ち、本発明の好ましい第2実施例に係る食物調理容器は、米を包装するように構成されるが、使用者が即座に水を入れて加熱して、ご飯を調理できるようにするためのもので、容器本体110と、第1遮断部120とを含む。

【0041】

容器本体110は、内部に米などが収容されるケース112と、ケース112の開放された上部を開閉させるカバー114とを含む。そして、カバー114の一側には、第1挿通孔114aが形成される。そして、カバー114は、リング115を備えて、ケース112を容易に開放させることができるように構成されて、リング115のリングホール115aは、第1挿通孔114aと対向するように位置することができる。

【0042】

第1遮断部120は、カバー114の第1挿通孔114aを開閉させるもので、第1挿通孔114aを覆うように、カバー114の内側に位置される遮断フィルター129と、遮断フィルター129を支持するように、カバー114の内側に結合される第1支持部121とを有するように構成される。第1支持部121は、カバー114の内側に付着して、遮断フィルター129の外周縁を支持するもので、ゴム材質などで構成される。これらの第1支持部121の枠一側は、遮断フィルター129の一側を固定させるように、遮断フィルター129の一側を覆うように構成されて、第1支持部121の枠他側は遮断フィルター129の他側を覆わないように構成される。そして、第1支持部121の中央には、第1貫通孔122が形成され、第1支持部121によって固定されない遮断フィルター129の他側は、第1貫通孔122を貫通して第1挿通孔114aから離れる方向に曲がって、元の状態に復帰することができるように構成される。そして、後述する水供給部20

10

20

30

40

50

0（図9に図示）が遮断フィルター129を加圧すると、遮断フィルター129が曲がりながら第1挿通孔114aを開放させることになる。水供給部200を介して容易に容器本体110の内部に水を注入することができるようになる。これは図9を参照して説明することにする。また、遮断フィルター129は、スチームフィルター128（図4に図示）に示すように、ナノ繊維材質で構成される。これらの遮断フィルター129は、水は外部に排出されず、水蒸気は通過されるようにすることで、一般的に透湿機能を備えるアウトドア用品に多く使用されて公知された技術である。

【0043】

以下、本発明の好ましい第2実施例に係る食物調理容器を利用して、食物を調理する過程について説明する。

【0044】

図9は、本発明の好ましい第2実施形態に係る食品調理容器の第1遮断部に水が供給される状態を説明するために示す図である。

【0045】

図9を参照すると、容器本体110に米が収容されており、この状態で水供給部200を利用して、容器本体110に水を注入する。水供給部200は、注射器などで構成されるもので、水が収容されるシリンダー210と、シリンダー210に盛られた水を加圧できるように、シリンダー210の一侧に装着されるピストン220と、シリンダー210の水が外部に排出されるように、シリンダー210の他側に装着されるニードル230とを含む。

【0046】

そして、ニードル230がリングホール115aと、第1挿通孔114aとに挿入された後、遮断フィルター129を加圧すると、遮断フィルター129が曲がりながら第1挿通孔114aが開放される。この時、ピストン220を加圧してシリンダー210の水が容器本体110の内部に注入されるようにする。この時、容器本体110に収容された米は、例えば、120gで構成されて、容器本体110の内部に注入される水は、例えば、150ccで構成することができる。

【0047】

図10は、本発明の好ましい第2実施例に係る食物調理容器が加熱されている状態を説明するために示す図である。

【0048】

図10を参照すると、容器本体110の下部に固体燃料130、または上述したバーナー140（図7に図示）が備える。固体燃料130は、容器本体110を直接加熱することにより、容器本体110に注入された水が沸きようにして、ご飯を調理するようにする。これらの固体燃料130は、例えば、サイズが大きい第1固体燃料（図示せず）と、第1固体燃料よりも小さいサイズの第2固体燃料（図示せず）とを備えており、第2固体燃料の上に第1固体燃料が配置され、第1固体燃料の上に容器本体110が配置される。そして、第1固体燃料に火をつけると、第1固体燃料から燃焼が開始され、第1固体燃料の燃焼が完了すると、第2固体燃料が燃焼され始める。この時、第1固体燃料は、その大きさが大きいため、火力が強く、第2固体燃料は、その大きさが小さいため、火力が弱い。これにより、第1固体燃料の強い火力を利用して、容器本体110に注入された水を沸かし始めて、一定時間が経過し、第2固体燃料が燃焼し始めると、第2固体燃料は火力が弱いので、自動的に蒸らす効果を備えるようになる。

【0049】

一方、固体燃料130によって容器本体110の内部の水が沸き始めると、容器本体110の内部には、水蒸気でいっぱいになり、前記水蒸気は遮断フィルター129を上部に推して、遮断フィルター129が元の位置に復帰されて、第1挿通孔114aを閉鎖することになる。この状態で、前記水蒸気は第1貫通孔122と、遮断フィルター129と、第1挿通孔114aとを順番に通過しながら容器本体110の外部に排出される。

【0050】

本発明は、前記実施例で詳細に説明されたが、本発明をこれに限定されないのは当然で、本発明の技術思想の範囲内で多様な変形及び修正が可能であることは、当業者にとって明らかであり、このような変形及び修正が添付された特許請求の範囲の範疇に属するものであれば、その技術思想も本発明に属するものと見るべきである。

【符号の説明】

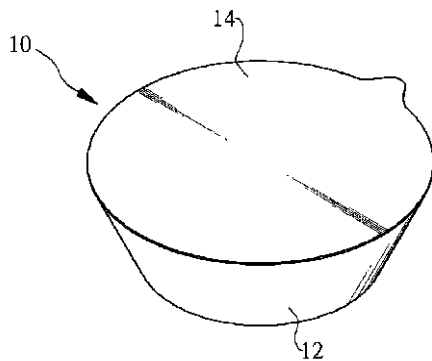
【0051】

100：食物製造容器	110：容器本体
112：ケース	114：カバー
114a：第1挿通孔	144b：第2挿通孔
115：リング	115a：リングホール
120：第1遮断部	121：第1支持部
122：第1貫通孔	123：遮断ラバー
125：第2遮断部	126：第2支持部
127：第2貫通孔	128：スチームフィルター
129：遮断フィルター	130：固体燃料
140：バーナー	200：水供給部
210：シリンダー	220：ピストン
230：ニードル	

10

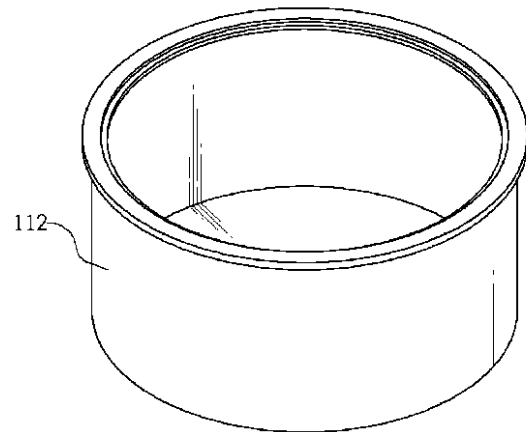
【図1】

[Fig. 1]



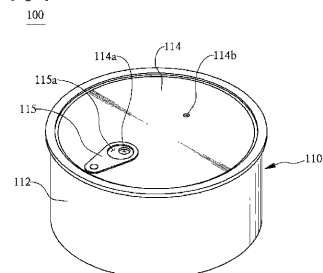
【図2】

[Fig. 2]



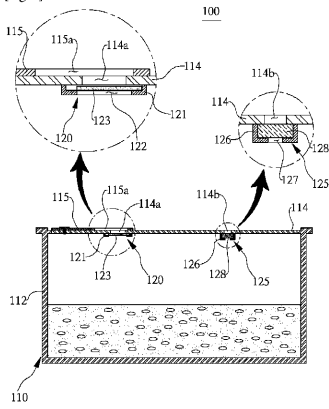
【図3】

[Fig. 3]



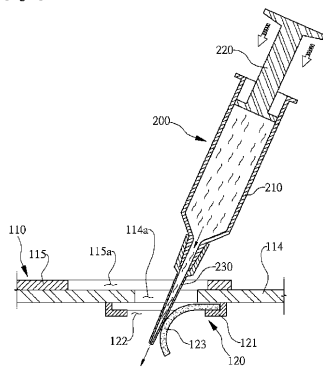
【図 4】

[Fig. 4]



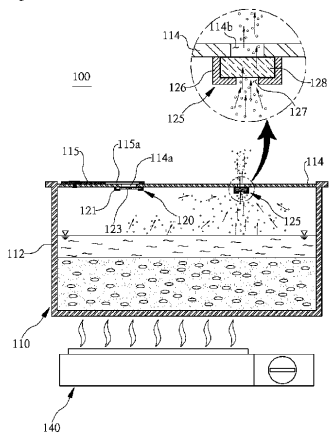
【図 5】

[Fig. 5]



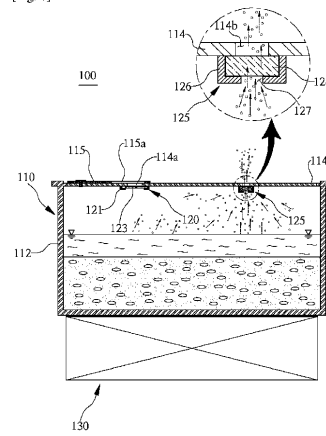
【図 7】

[Fig. 7]



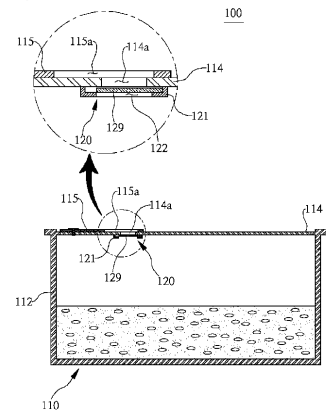
【図 6】

[Fig. 6]



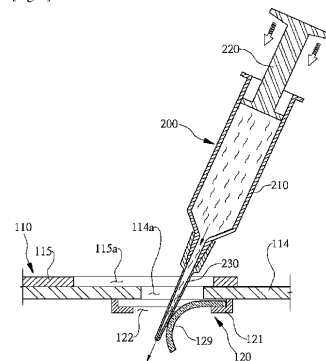
【図 8】

[Fig. 8]



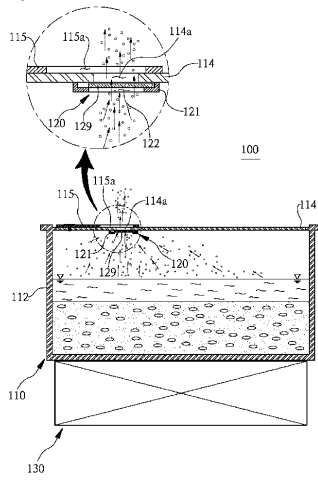
【図 9】

[Fig. 9]



【図 10】

[Fig. 10]



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/KR2015/002482

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER B65D 81/34(2006.01)i, B65D 51/16(2006.01)i, B65D 47/32(2006.01)i According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) B65D 81/34; A47J 33/00; B65D 81/18; B65D 33/00; B65D 81/20; B65D 43/02; B65D 51/16; F24C 5/04; B65D 47/32 Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Korean Utility models and applications for Utility models: IPC as above Japanese Utility models and applications for Utility models: IPC as above Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) eKOMPASS (KIPO internal) & Keywords: boiled rice, simple, cover, through hole, solid fuel, rubber, support and steam filter		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	KR 10-2011-0054097 A (SHIN, Nam Sik) 25 May 2011 See paragraphs [0001], [0015]-[0016], [0018], claim 1 and figure 1.	1-6
Y	KR 10-2011-0026046 A (FEELUX CO., LTD.) 15 March 2011 See paragraphs [0010]-[0021], [0028]-[0031] and figures 2-3, 5	1-6
A	KR 10-2008-0009933 A (SHIN, Suk Kyun) 30 January 2008 See paragraphs [0023]-[0034] and figure 2.	1-6
A	KR 20-2008-0003418 U (DAEJUNG CTI CO., LTD.) 20 August 2008 See paragraphs [0013]-[0014], [0027] and figure 2.	1-6
A	KR 10-2014-0054577 A (SPICO et al.) 09 May 2014 See paragraphs [0048]-[0052] and figure 6.	1-6
☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "I" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 18 JUNE 2015 (18.06.2015)		Date of mailing of the international search report 19 JUNE 2015 (19.06.2015)
Name and mailing address of the ISA/KR  Korean Intellectual Property Office Government Complex-Daejeon, 189 Seousa-ro, Daejeon 302-701, Republic of Korea Facsimile No. 82-42-472-7140		Authorized officer Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/KR2015/002482

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member	Publication date
KR 10-2011-0054097 A	25/05/2011	NONE	
KR 10-2011-0026046 A	15/03/2011	NONE	
KR 10-2008-0009933 A	30/01/2008	NONE	
KR 20-2008-0003418 U	20/08/2008	NONE	
KR 10-2014-0054577 A	09/05/2014	NONE	

국제조사보고서		국제출원번호 PCT/KR2015/002482
A. 발명이 속하는 기술분류(국제특허분류(IPC)) B65D 81/34(2006.01)i, B65D 51/16(2006.01)i, B65D 47/32(2006.01)i		
B. 조사된 분야 조사된 최소문헌(국제특허분류를 기재) B65D 81/34; A47J 33/00; B65D 81/18; B65D 33/00; B65D 81/20; B65D 43/02; B65D 51/16; F24C 5/04; B65D 47/32 조사된 기술분야에 속하는 최소문헌 이외의 문헌 한국등록실용신안공보 및 한국공개실용신안공보: 조사된 최소문헌란에 기재된 IPC 일본등록실용신안공보 및 일본공개실용신안공보: 조사된 최소문헌란에 기재된 IPC 국제조사에 이용된 전산 데이터베이스(데이터베이스의 명칭 및 검색어(해당하는 경우)) eKOMPASS(특허청 내부 검색시스템) & 키워드: 쌀밥, 간편, 컵버, 통공, 고체연료, 러버, 지지부 및 스탬필터		
C. 관련 문헌		
카테고리*	인용문헌명 및 관련 구절(해당하는 경우)의 기재	관련 청구항
Y	KR 10-2011-0054097 A (신남식) 2011.05.25 문단번호 [0001], [0015]-[0016], [0018], 청구항 1 및 도면 1 참조.	1-6
Y	KR 10-2011-0026046 A (주식회사 펄투스) 2011.03.15 문단번호 [0010]-[0021], [0028]-[0031] 및 도면 2-3, 5 참조.	1-6
A	KR 10-2008-0009933 A (신석균) 2008.01.30 문단번호 [0023]-[0034] 및 도면 2 참조.	1-6
A	KR 20-2008-0003418 U (주식회사 대정씨티아이) 2008.08.20 문단번호 [0013]-[0014], [0027] 및 도면 2 참조.	1-6
A	KR 10-2014-0054577 A (주식회사 스피코 외) 2014.05.09 문단번호 [0048]-[0052] 및 도면 6 참조.	1-6
☐ 추가 문헌이 C(계속)에 기재되어 있습니다. ☒ 대응특허에 관한 별지를 참조하십시오.		
* 인용된 문헌의 특별 카테고리: “A” 특별히 관련이 없는 것으로 보이는 일반적인 기술수준을 정의한 문헌 “B” 국제출원일보다 빠른 출원일 또는 우선일을 가지나 국제출원일 이후에 공개된 선출원 또는 특허 문헌 “L” 우선권 주장에 의문을 제기하는 문헌 또는 다른 인용문헌의 공개일 또는 다른 특별한 이유(이유를 명시)를 밝히기 위하여 인용된 문헌 “O” 구두 개시, 사용, 전시 또는 기타 수단을 언급하고 있는 문헌 “P” 우선일 이후에 공개되었으나 국제출원일 이전에 공개된 문헌 “T” 국제출원일 또는 우선일 후에 공개된 문헌으로, 출원과 상충하지 않으며 발명의 기초가 되는 원리나 이론을 이해하기 위해 인용된 문헌 “X” 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌 하나만으로 청구된 발명의 신구성 또는 진보성이 없는 것으로 본다. “Y” 특별한 관련이 있는 문헌. 해당 문헌이 하나 이상의 다른 문헌과 조합하는 경우로 그 조합이 당업자에게 자명한 경우 청구된 발명은 진보성이 없는 것으로 본다. “&” 동일한 대응특허문헌에 속하는 문헌		
국제조사의 실제 완료일 2015년 06월 18일 (18.06.2015)		국제조사보고서 발송일 2015년 06월 19일 (19.06.2015)
ISA/KR의 명칭 및 우편주소 대한민국 특허청 (302-701) 대전광역시 서구 청사로 189, 4동 (둔산동, 정부대전청사) 팩스 번호 +82-42-472-7140		심사관 황찬윤 전화번호 +82-42-481-3347

서식 PCT/ISA/210 (두 번째 용지) (2015년 1월)

국제조사보고서
대응특허에 관한 정보

국제출원번호
PCT/KR2015/002482

국제조사보고서에서 인용된 특허문헌	공개일	대응특허문헌	공개일
KR 10-2011-0054097 A	2011/05/25	없음	
KR 10-2011-0026046 A	2011/03/15	없음	
KR 10-2008-0009933 A	2008/01/30	없음	
KR 20-2008-0003418 U	2008/08/20	없음	
KR 10-2014-0054577 A	2014/05/09	없음	

서식 PCT/ISA/210 (대응특허 추가용지) (2015년 1월)

フロントページの続き

(31)優先権主張番号 10-2014-0096952
 (32)優先日 平成26年7月30日(2014.7.30)
 (33)優先権主張国 韓国(KR)
 (31)優先権主張番号 10-2014-0097957
 (32)優先日 平成26年7月31日(2014.7.31)
 (33)優先権主張国 韓国(KR)
 (31)優先権主張番号 10-2014-0100269
 (32)優先日 平成26年8月5日(2014.8.5)
 (33)優先権主張国 韓国(KR)
 (31)優先権主張番号 10-2014-0112954
 (32)優先日 平成26年8月28日(2014.8.28)
 (33)優先権主張国 韓国(KR)
 (31)優先権主張番号 10-2015-0033016
 (32)優先日 平成27年3月10日(2015.3.10)
 (33)優先権主張国 韓国(KR)

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ

(72)発明者 ゴン, ソン－ヨン
 大韓民国 456－812 ギョンギード, アンソン－シ, ウォンゴク－ミョン, ジサン－ギル,
 52

Fターム(参考) 3E013 BA30 BB06 BD02 BE07 BF02 BF22 BF32
 4B055 AA48 BA39 CA21 CA73 CB09 CC66 FA14 FC14